

道の駅「小豆島ふるさと村」と香川大学（「地域インターンシップ」全学共通科目）の学生が連携して、超小型モビリティを活用した周遊観光の企画立案を行います。

①小豆島の特性と道の駅の課題の把握

- ・小豆島は、長時間滞在してこそ味わえる魅力がある
- ・モビリティ（2人乗り小型電気自動車）の有効活用

反映

②超小型モビリティを活用した観光周遊の企画・提案

- ・立ち寄りスポットの抽出  
（道の駅からモビリティで立ち寄れるスポットの抽出）
- ・小豆島の魅力を満喫できるルートの検討  
（利用者層、所要時間、安全性等に配慮したルート検討）

反映

発展

③モビリティ・ルートマップの作成

- ・三都半島周遊モビリティルートマップを作成

【周辺の魅力探求のためのフィールドワーク】

小豆島の魅力、道の駅「小豆島ふるさと村」周辺の観光資源を把握するため、フィールドワークを実施し、道の駅で提供可能な企画提案に反映します。

「小豆島ふるさと村」周辺の観光施設



【香川大学による地域インターンシップの目的】

香川大学では、低年次で地域に出向き、地域づくりの現場・しごとを理解し、地域課題解決への参画を通じて、①社会貢献、②課題探求・解決力の修得、③能動的学修を目指している。

インターンシップ報告会



【道の駅「小豆島ふるさと村」について】

年間を通して、すももソフト、そうめん、こびきうどん等を提供。手延べそうめん館も隣接、体験学習、釣り、体育施設の申込みも実施している。



香川大学(所在地:香川県高松市)は、6学部、8研究科を擁した総合大学として、個性と競争力を高めるために「地域に根差した学生中心の大学」をめざしています。また、地域貢献では、文部科学省の大学改革推進事業のひとつ、「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において、平成25年度に採択され、全学的に県内自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。「地域インターンシップ」もCOC事業において新設された科目です。

平成27年度 取組み内容：超小型モビリティを利用した周遊観光の企画・提案

取組み前の調査

●小豆島の魅力、道の駅「小豆島ふるさと村」の「課題」や周辺の「観光資源」を感じ取るためにフィールドワーク及び道の駅の視察を実施



●現状の把握からモビリティルートを提案

道の駅からの課題

- ・超小型モビリティの活用
- ・道の駅で提供可能な商品、企画の立案

小豆島の魅力

- ・長時間滞在してこそ魅力に気づく
- ・三都半島には魅力的な観光資源が豊富

超小型モビリティを利用した周遊観光

- ・立ち寄りスポットの抽出
- ・ルートの検討
- ・モビリティ ルートマップ作成

学生が超小型モビリティを活用した周遊観光を企画立案し、モビリティルートマップの作成に取り組みました。



意見交換会の様子



学生が提案した周遊観光ルートの一例

学生が抽出した立ち寄りスポットの一例

- ・城山桜公園
- ・誓願寺ソテツ
- ・長崎のしし垣
- ・花寿波
- ・地蔵崎,地蔵崎灯台
- ・犬の墓
- ・風穴庵
- ・吉野漁港
- ・正法寺
- ・二面漁港

